

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
静岡県・浜松市	2220001	1	平成20～22年度	平成20年度
活性化計画の区域				
静岡県浜松市天竜地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
地域産物(茶)の販売量の増加	19.47%	6.46%	33.18%	H20～22の計画:112.9t H20～22の実績:100.6t

(コメント)

地域産物(茶)の販売量の増加については、緑茶の消費の減退や単価の下落の影響により茶の品質が重視されるようになった影響で、生茶葉の摘採時期を早めみる芽(若い芽)の時期に摘採することが主流となったため、生茶葉の収穫量が減少し荒茶(従来の煎茶)の生産量が減少したこと、さらに、平成22年3月30日に発生した凍霜害で深刻な被害を受け、茶の生育が遅れ平成22年度の実績が生産量が減少したことにより、目標達成が困難となった。

しかし、目標値には届かなかったものの、碾茶加工施設を整備し従来の煎茶以外の新たな商品として碾茶を製造販売することで、整備前の94.5t(平成17～19年度)と比べると販売量を増加させることができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物処理加工施設	碾茶加工施設の整備 鉄骨造平屋建1棟585.46㎡ 1ライン100kg/h		(農)天竜愛倶里ふぁーむ
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
(農)天竜愛倶里ふぁーむ	平成20年度	平成20年度	平成21年4月1日
事業効果			
静岡県西部地区で初めての碾茶加工施設が完成したことにより、従来の煎茶だけでなく碾茶用の生葉生産という選択肢が増え、農業所得の向上と耕作放棄地の増加抑制、地域ブランドの確立が図られた。 また、生産者の後継者が就農し、定住人口の減少の抑制が図られた。 碾茶加工施設での見学会による地域間交流が図られ、交流人口が増加した。			

3 総合評価

(コメント)

活性化目標を達成することはできなかったが、新商品の開発と販路拡大により農業経営の安定化が図られ、耕作放棄地の防止等、地域の農業の活性化につながった。また、後継者が育ったために定住人口の面でも寄与した。

さらに、販路拡大や産地形成のためにグリーンツーリズム施設等での販売を行うほか、碾茶加工施設への見学会を実施することで交流人口が増加し、地域の活性化に繋がったと評価できる。

今後、目標の達成に向け、生産量や販路の拡大を図る。国内での需要が伸び悩んでいるために、海外にも一部を輸出しているが、今後どの程度の量を増やしていけるかが課題である。

4 第三者の意見

販売量の増加目標は残念ながら達成できなかったが、天竜地区では高齢化や茶価の低迷によりお茶の生産量が年々、減少傾向にある中で、増加したことは評価できる。今後、地域産物(茶)の販売量をさらに上げるために、品質に重点を置いたお茶づくりをはじめとして、イベント等を通じて宣伝を積極的に行い、自然環境の良い場所で生産されたことを十分にアピールすると良い。

(浜松市農業委員会天竜・龍山調査会 天竜・龍山調査会長)